



かみとんだ 議会だより

第161号

2018.3

平成28年度 決算一般会計・特別会計合計

歳入総額 116億2,400万7,581円

歳出総額 116億8,389万1,258円 を認定しました。



1月13日(土) 新春子ども議会が開催されました。
正副議長選出に引き続き、10名の議員による一般質問が町当局に対し行われました。

12月議会で3議員が一般質問を行いました!

- 九鬼裕見子議員：☆学校給食実施にむけて学校現場の実情をおさえ、補助員配置を
☆防災について
☆子どもの医療費無料化拡大について
- 松井孝恵議員：☆ひょうたんせんぱいについて
☆上富田の文化財について
- 谷端 清議員：☆きらりくちくまの健康推進計画について

発行/和歌山県上富田町議会 編集/議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763

TEL(0739)33-7445 FAX(0739)47-5959

「議会だより」は、上富田町のホームページにも掲載しています。また、インターネット配信で議会の様子もご覧いただけます。

九鬼 裕見子 議員

(質問方式 一問一答方式)

1. 学校給食実施にむけて、学校現場の実情をおさえ、補助員の配置を
2. 防災について
3. 子どもの医療費無料化拡大について



1. 学校給食実施にむけて、学校現場の補助員の配置を

①学校現場の現状について
【質問】 文部科学省が学校の業務改善のための取り組み状況調査があったが、学校現場の現状について、小中学校の教員の労働実態はどうか。
【教育委員会総務課長】

時間外労働の主な要因として、教職員を対象に行った生活状況アンケートから、小学校では授業の準備が最も多く、成績の処理、採点、ノートの点検、校務分掌上の業務、担任業務、事務処理、家庭訪問などで、中学校もこれに加えて、クラブ活動がある。
【質問】 業務を現実には減らせなくて、8時より早く帰ったことがない、子育てされている先生は、家に持ち帰っている。それでも消化できないときは、土曜日に出勤され仕事をしている現状を、教育委員会として把握しているか。
【教育委員会総務課長】 小学校で授業準備や生徒指導で一週間、12時間から24時間、中学校では8時間から29時間となっている。クラブの県大会などの時期は大幅に伸びている。
【質問】 ストレスチェックの結果はどうか。
【教育委員会総務課長】 教職員の中には事務的な事務量の多さや、人間関係、対処困難な児童生徒、

保護者対応へのストレスを感じているなど、主要因として報告されている。
さまざまな教育活動の中で一人の方に負担がかからないように取り組みを進めていく。
②学校給食実施に当たって補助員の配置を
【質問】 教員の長時間勤務について看過できない深刻な状況が改めて明らかになった。教員の多忙な勤務を考えると、現場では不安の中で4月の新学期を迎えようとしている。待ちに待った、学校給食が、これ以上教員の負担とならないためにも、配膳室への受け取り業務などをどのように考えているか。
給食補助員を配置した場合の予算はどうか。
【教育委員会総務課長】 小中学校では、校内教職員で配膳に対する取り組みを検討し、3月までに対応が整うように進めている。また、ボランティアを申し出てくれている学校もあり、実態をみきわめて検討していきたい。

給食補助員を配置した場合、2名、2時間の有償ボランティアで、480万円の試算となる。
2. 防災について
①特別警戒区域、警戒区域の調査はどの程度進んでいるか
【質問】 県は警戒区域の見直し調査に6年かかると思われるが、上富田町での調査はどの程度進んでいるか。今後どのように住民に知らせ、認識させていくのか。
【産業建設課企画員】 町として県の公示後、基礎調査の成果に基づき、町の防災計画への反映や、自主防災組織や関係住民等に周知していく。
②災害に応じた避難場所の見直しについて
【質問】 6月議会で避難場所について、見直していきたいとの答弁だったが、避難場所の検討がされていない。早急に調査し、見直しが必要ではないか。
【総務政策課企画員】 避

難場所の見直しや運営について課題が浮かび上がっていることを踏まえ、土砂災害警戒区域の見直しや地域防災計画等に基づいて、今後十分検討を重ね、見直しをしていく。
③自主防災組織の確立を計画的に実のある取り組みにできないか
【質問】 自主防災組織の重要性をどのようにとらえているか。
【総務政策課企画員】 災害が発生したとき被害を最小限にし、また軽減するためには、住民が自発的に組織した自主防災組織の役目は大変重要となっている。しかし、自主防災組織の平常時の活動がまだまだ進んでいないのが現状。自主防災組織への働きかけをし、危機意識の高揚を図ってきたい。
3. 子どもの医療費無料化拡大について
①子どもの医療費を中学校卒業まで無料にした場合、新たな試算はどうか

【質問】 子どもの医療費無料化拡大に伴う町長発言があったが、子どもの医療費を中学校卒業まで無料にした場合の新たな試算はどうか。
【住民生活課長】 子どもの人数が同規模で、中学校卒業までの無料を実施している県内の自治体を参考に算出したところ、3500万円、4000万円町の負担が増えると予測される。
【質問】 子育て世代の方だけでなく、孫たちのために子どもの医療費無料化拡大をしてほしいとの声が私のもとに届けられている。来年度に向けて骨格予算を組む時期だが、この問題についてどう考えるか。
【町長】 来年度の新規事業については、新しい町長に判断を仰ぐよう、骨格予算とするように職員に指示している。医療費無料化問題を否定している訳ではないが、財政的な面で即、行うことは難しい。学校給食が軌道に乗るまで様子を見る必要がある。

松井 孝恵 議員

(質問方式 一問一答)

1. 「ひょうたんせんぱい」について
2. 「上富田町の文化財」について



2. 「上富田町の文化財」について

【質問】 私たちの上富田町は県の中央に位置し、ちょうど中辺路街道の入り口にある。古来から人の交流が絶えず、文化的な交流も盛んであった。

町民憲章の言葉のとおり、文化活動も現在活発に行われていますが、文化というとこれら現代の活動だけでなく過去のものという見方もある。例

えば、文献、自然や考古民俗、あるいは石造物、社寺に関するものなど、未発見・未発掘のもの以外は全て平成十年二月に刊行された『上富田町史』全五巻におさめられています。

そこで、この町史を監修された和歌山大学名誉教授、安藤精一氏の言葉を借りますと、「歴史関係の資料は日々消滅していく。特に町史編さん後に、もう終わったということであらうことが多い。現物保存と一般公開が重要な意味をもっている。」と述べられています。又、「地域開発と発展に成功するためには、地域に自信と誇りをもつことが必要で、何よりも正確な歴史認識が必要」とも述べられており、今日においても極めて示唆に富んだ言葉です。平成十年に刊行された『上富田町史』、どのように行政に活かされてきたのでしょうか。

【教育委員会生涯学習課長】 上富田町史の編さんは昭和五十三年の町政施行二十周年を機に取り組みが開始され、平成十年に全五巻をもって完成されました。実に二十年の歳月がかかっており、大変重要な書籍になるかと思えます。この町史を引用いたしました上富田町文化財教室シリーズというものが役場のホームページにも全二十一載っておりまして、小冊子でも十四頁ぐらいの冊子も発行していますが、平成二十三年の三月で途切れしており、現在は十分に活用している状況ではないかとしかお答えできない状態です。こうした失われたいく、埋没していきたくないようなことを防止するためには、上富田町史というものが、先人の大きな労苦を伴ってつくってこられたものが現にありましてというようなことを、今もまだご存じでないような方々にしっかりとお伝えしていくべきであらうと考えています。この上富田町史は一冊五千円で販売をしております。販売のためだけでなく、図書館にもご用意がございますというようなPRも必要と考えています。

【質問】 これら文化財の公開についてお尋ねします。毎年町の文化祭を楽しみにしている。その中で文化財の展示が楽しみだが非常にもったいない。年一回の公開でいいのかという感も持っています。朝来の駅前には郷土資料館がある。どんな活用をされているか。郷土の歴史を学ぶテキストとして、小中学校の利用状況はどうなっているか。十分と思われていますか。

【教育委員会生涯学習課長】 昨年三月三日から八日までの六日間にわたって郷土資料館の資料を整理しましたということによって一般公開をしました。来館者数は、六日間で百名の方にお越しいただきました。【教育委員会総務課長】 学校では毎年小学校三年生時に郷土資料館の見学の機会をとっています。夏場に先生方が一度見学し、研修の機会としており、秋以降に子供たちとともに再度見学にきます。見学の日は、先生だけでなく文化の会の方々にお願いして、より詳しく展示物の説明をしていただいています。学校として資料館の活用は十分なもたないかも知れませんが、健康福祉と文化のまつりのときに、展示物の一部ですが持ってきて皆さんに見てもらっているのが現状です。又、教育委員会では、小学三年生から利用する社会科の副読本を活用しています。

【質問】 文化財の保護についてお聞きします。年に二回程度見回っているというところだが個人所有や野にあるものはその保存状態が懸念されます。日々、管理されて後世に伝えていかなくてはいけないと思います。世界遺産追加登録もどのようにしていこうかと、総合的に方向性がまだ決まっていない。こういった文化財を管理して、逐次監視し、研究し、未発掘のものを調査していく専門の職員が必要と考えるが当局のお考えはいかがか。

【教育委員会生涯学習課長】 現在の体制は、私の方で世界遺産の保護国指定天然記念物オオウナギの生息地についての許可関係の事務をしています。文化財の保護は課長補佐と非常勤職員で対応しています。ある程度事務を分散し、互いに補い合って事務を進めるということも必要と考えています。専門の職員については住民の方々のお問い合わせが合ったときとか、許認可の場合に必要な性を感じることは少なからずあります。専門的な知識が必要な領域は文化財に限らずあるものと考えており、そうした点に対応していく必要性はあると考えています。

【質問】 市ノ瀬の南岸の河岸段丘の中に、坂本の付城の跡があると考えておられます。一四二八年、室町時代、將軍足利義満の側室北野殿が、一ノ瀬の地において、湯川・玉置・山本氏から食事のものをなしを受けたと『熊野詣日記』に記されています。伝説や伝聞でなく本物の歴史のストーリーが出てくる。住民がこれから進む方向性を示し、羅針盤になると考えます。発掘について当局はどう考えているか。

【教育委員会生涯学習課長】 坂本の付城については豪族山本氏の史跡として非常に価値の高いものであると認識しています。県からは、まず一定の調査を行った上で、県の指定史跡を目指してはどうかと助言いただいています。県としても調査には非協力したいとお申し出いただいています。現状、ご指定の土地は農地で所有者の方の同意が必要ですし、農地法上の規制も受けるべき土地です。とは言うものの、地域の機運が増している事も存じ上げており、史跡の指定、その前段の発掘調査や測量についてはまずは予算の見積もり等をやってまいりたいと考えています。

議員 清 谷端

(質問方式 一問一答)

1. きらりくちくまの健康増進計画について



1. きらりくちくまの健康増進計画について

①スポーツサロンについて
【質問】スポーツサロンを開設した目的について
【総務政策課企画員】サロンの建設の目的は大きく4つあります。1点目はスポーツ合宿の誘致。サロンを活用することによりトップアスリートなど

の合宿誘致の幅がさらに広くなります。2点目は、地域住民の生きがいづくりや交流の場づくりであります。3点目は雇用対策であります。サロンのスタッフだけでも、今後予定しているのは7名の雇用を生み出すということと今予定しております。4点目、地域住民の健康対策、介護予防対策であります。レスポンスメニューの中に町の介護予防事業、保健対策事業、そういったのも組み込んでいって、町とサロンと一体になって町の健康対策に取り組んでいきたいというふうに考えております。

【質問】スポーツサロンのように思われますか。ほかのジムに比べてここはいいなとアピールできるところというのがありますか。
【教育委員会生涯学習課長】インストラクターが的確に、また適切に会員の方の指導、助言、そういったサポートをしている体制が整っているのは、地域では私どものスポーツサロンが一番ではないかなと考えているところだ。

②スポーツセンターについて
【質問】スポーツセンターに1年間かかる運営費は、大体幾らぐらいかかりますか。
【教育委員会生涯学習課長】主な経費で申しますと、管理人が3名、受付事務で1名おります。そういったところで人件費としてはおおむね1,400万円。あと、光熱水費とかで850万円。芝生の管理委託というふうなところで850万円。し尿のくみ取りとかで500万円。土地の借上料が380万円。その他、いろいろ消耗品とかそういうものを足しまして積み上げた金額は、全てでは4,760万円というのが29年度の予算上の金額で、おおむねこういった額になっていくのかなと考えております。

【質問】運営費に年間4,700万円ぐらい使っている。大体おおむねで、それらの金額を引いたら、町からの負担は大体どれぐらいになりますか。
【教育委員会生涯学習課長】SEACAで収入された金額がおおむね1,400万円でございます。

【総務政策課企画員】事業内容としましては、まず1つ目、スポーツ団体等の誘致に関する。2番目はスポーツ大会等の企画、開催に関する。1団体を含む大会を主催することによって多くのチームを短期間で呼べるという効果があります。3番目は、スポーツ団体等の受け入れ態勢の充実強化に関する。これはスポーツ施設、宿泊施設、お弁当屋さん、全体で団体をおもてなしをする。4つ目で、スポーツ施設等の運営管理に関する。5つ目が旅行業法に関する。地域限定の旅行業を取得し、ワンストップ窓口を目指すということ。6つ目が、健康増進事業に関する。サロンを指定管理で受託し、サロンを拠点とした地域住民の健康対策、介護予防事業に取り組みます。7つ目が栄養・食育体制に関する。8つ目がスポーツ用品等物品の販売に関するということ。平成30年の4月から上富田町体育施設の指定管理者としてその経営を担っていく予定であります。スポーツサロンの経営ですが、自立を目指してあります。また、旅行推進部、これは宿泊施設等のあっせん手数料などにより、1名雇用するわけですが、黒字化を目指してあります。将来にはその黒字で体育施設の管理費全体、今言われた赤字部分ですね、管理費から収入を引いた赤字部分、これを少しでも減らしていくそういった努力をしていきたい、町の負担を減らしていこうというふうに考えています。

【質問】スポーツセンターには野球場、サッカー、ラグビー、テニスとかサロン、すばらしい施設になりつつあると思います。今後スポーツセンターをもっと充実していくためには、町行政として考えることがあれば聞かせていただきたい。

【町長】現実的にはスポーツセンターが上富田町の目玉になってきて、そのことでスポーツセンターのこと言われますけど、私はご存じのように第1次総合計画で農業、第2次総合計画で企業誘致、第3次では健康、第4次では教育、こういう中でバランスをとっているという考え方で、できれば理解していただきたい。私の時代はできませんでしたが、財政に余裕あったらもう少し施設を充実していただきたい。また、バランスをとるような格好で並行して、図書館の読まない本をどういうふうにするかとか、専門書をどういうふうにするかということもあると思うけど、全体的に議員の皆さんに議論していただいて、町全体が振興につながるような格好でご協力いただければと思います。

所管事務調査報告書

調査年月日：平成29年10月18日(水)～10月20日(金)

調査事項及び調査地

「熱中小学校について」(北海道 更別村)

「ふるさと納税について」「空き家・移住対策について」(北海道 上士幌町)

「スポーツ観光について」(北海道 帯広市)

総務教育常任委員会

所管事務調査にあたり、更別村で熱中小学校について、事業内容や運営方法等の視察を行いました。次いで、ふるさと納税を活用した子育て支援、移住・定住対策により人口が増加した上士幌町で、納税制度への取組みや寄付金を活用した施策について、また、早くからスポーツ観光への取組みを始めている帯広市ではスポーツ合宿誘致や施設の指定管理者制度について視察を行いました。

更別村の十勝さらへつ熱中小学校では、ビジネスに関する知識やノウハウを学ぶだけではなく、



く、人材育成、交流人口の増加、新たな人材ネットワークや異業種交流を目指しています。熱中小学校の活動を機軸に未来を担う人材を育成し、連携事業を通じて具体的な「しごと」を創り出し、雇用創造・地域経済活性化を図ることを全体の構想として取り組んでおられました。来年度上富田町で開校される紀州くちくまの熱中小学校が地域・地方を越えたネットワークを駆使し、多様な人々を巻き込んで町の課題を解決していくことを期待しています。



上士幌町は、ふるさと納税制度の好事例として総務大臣が訪問した町です。ポータルサイトの導

入により納税(寄付)される方が急激に増えたそうです。上士幌町はサイト利用の納税者とは顔の見えない関係のままで終わらせずに、町主催の感謝祭等での納税者と生産者・職員との交流や返礼品をきっかけにして町のファンを増やし、移住等に繋げることを目指しているとのことでした。上富田町の今後の取組みの参考にできるところが多々あると感じました。



帯広市は、冷涼な気候、屋内スケートリンクなどの練習環境、温泉旅館から大人数が宿泊可能なホテルまで幅広く対応することができ、宿泊施設等受入態勢を整え、官民挙げて合宿や各種スポーツ

大会の誘致活動を行い、成果をあげています。また、市所有の施設について指定管理者制度を利用してはいますが、定期的に確認・検証を行い、内容の改善や見直しを図っています。



視察で訪れたどの自治体も地域の資源を最大限に生かし、課題解決や更なる発展に向かって素晴らしい取り組みをされていました。それぞれに人口、財政状況、地域性等々異なりますので、施策等そのまま取り入れることはできませんが、この度の視察先に共通する「地域資源の発掘」と「連携(交流)」については早急に取組む必要があると考えます。

所管事務調査報告書

調査年月日：平成29年10月25日(水)～10月27日(金)

調査事項及び調査地

「木質バイオマス発電所について」(新潟県 三条市)

「農業振興について」(新潟県 阿賀野市)

産業民生常任委員会

新潟県三条市 保内工業団地内で操業されているグリーンサーマル(株)の木質バイオマス発電所を視察してきました。現在、生馬救馬谷地区田辺市との境界近くに計画されている同規模の発電所です。

私たち委員会も騒音等の事が心配になりましたので視察に行ってきました。



上富田町で予定している発電所の規模は、7200KWです。また、発電所の発電装置、木材粉碎機等の機械設備は室内で行い周辺には防音壁を設置していました。

工場敷地内のタービンの音は(九十デシベル)、大きく感じましたが敷地外で約150m離れた場

所で騒音を体験しましたが、防音壁の為か、法定規則数値内の音でしようか、あまり大きく感じませんでした。

また、工業団地でありながら、施設のかなり近くに民家が点在していたことにも驚きました。



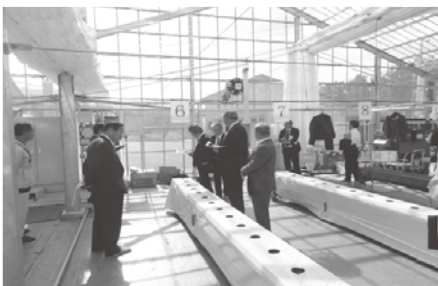
グリーンサーマル社は、工事実施前には周辺の音や家屋調査や河川の水質調査も独自にやる予定であると話していましたが、今後においては、救馬谷での操業までには、トラックの輸送経路や騒音対策等について十分な対策を当局を通じて検討をお願いしていきたいと考えています。

翌日は、新潟県 阿賀野市に農業振興について視察を行いました。阿賀野市の農地面積は、約7,000haで内水田

は、6,300haあり、農地全体の約9割あります。圃場整備率は24%で新潟県内では、一番悪いとの事でしたが、私たちが見たら既に整備が出来ているように見えました。農業生産額は、70億円でありますが、農業者の高齢化や、担い手が減少しつつあります。

農業後継者育成のために、若手農業者の確保育成や、儲かる農業の実践による農業の活性化を目的に、施設園芸のパイロット事業として整備(平成二十八年度末完成)した、阿賀野市直営の農園ハウスです。

ビニールハウスの大きさは、52m×22mで管理も自動装置が設置されています。

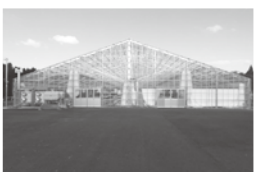


日光がたっぷりと降り注ぐ立地で、ハウス内の農作物は、太陽の恵みをたっぷり受けることができているようです。

さらに、ICTを導入することで、温度管理などの自動化を実現し、気候変動に左右されない農作物の栽培を可能にしていました。

平成二十九年五月に植栽を開始し、現在は、「フルティカ」、「華クイン」、「ミニトマト」の3品種のトマトを栽培しております。

上富田町も、市ノ瀬地区に農地を取得して、ビニールハウス2棟を建設予定であります。新規就農者や後継者グループ等をお願いしているところですが、阿賀野市との規模の違いに驚きました。ができるだけ後継者や新規就農者が進んで農業振興に取り組んでいただきたいと考えます。



会期（平成29年12月11日～19日）

9日間

12月 議会

町当局から提案の34議案は全て可決しました。また平成28年度14会計の決算についても、13議案を認定、内1議案を認定及び可決としました。

補正予算の主な事業内容等は、次のとおりです。

＜一般会計補正予算第3号＞…今回1,480万円を追加し、総額を59億9,514万3千円としました。

…9月22日付専決処分の報告及び承認

（10月22日に執行された衆議院議員総選挙の選挙事務経費）

＜一般会計補正予算第4号＞…今回2億103万7千円を追加し、総額を61億9,618万円としました。

補正予算の主な事業内容等は、次のとおりです。

◎総務費

- ・負担金補助及び交付金……………14,768千円
（和歌山県からの職員派遣負担金）
- ・積立金……………10,000千円
（寄付金に伴い財政調整基金積立金）

◎民生費

- ・障害福祉費扶助費……………16,000千円
（障害福祉サービス等給付金）

◎衛生費

- ・公立紀南病院組合負担金……………20,885千円
- ・上大中清掃施設組合負担金……………14,942千円
- ・富田川衛生施設組合負担金……………24,419千円

◎農林水産業費

- ・農業費農業総務費繰出金……………11,500千円
（特別会計農業集落排水事業への繰出金）

◎消防費

- ・常備消防費委託料……………44,636千円
（消防事務業務委託料）

◎教育費

- ・教育総務費事務局費……………3,854千円
（広域入所認定こども園運営負担金）
- ・保健体育総務費……………3,000千円
（新団体設立準備費補助金）

条例関係

◎上富田町学校給食費条例

(平成30年4月からの学校給食法に基づき実施する学校給食について、児童・生徒及び教職員等を対象とした学校給食費に関し必要な事項を定めるもの)

◎上富田町奨学基金設置条例の一部を改正する条例

(中田食品株式会社様からの寄付金により本条例の一部を改正するもの)

工事請負契約関係

◎契約の目的 …… 平成29年度 第1号

文化会館運営事業 上富田文化会館空調設備改修工事

◎契約の方法 …… 指名競争入札による

◎契約金額 …… 一金 139,754,160円

◎契約の相手方 …… 大阪市北区天満橋1丁目8番30号

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社

取締役関西支社長 大塚 眞史

工事請負変更契約関係

◎契約の目的 …… 平成29年度 第2-1号

公共下水道事業 生馬下水道管(8工区)布設工事(補助)

◎契約金額 …… (変更前) 一金 56,023,920円

(変更後) 一金 65,426,400円 9,402,480円の増

◎契約の相手方 …… 田辺市秋津町1595番地の2

株式会社 丸山組

代表取締役 丸山 博之

◎契約の目的 …… 平成28年度 第2号

学校給食施設整備事業 上富田町学校給食センター建築工事

◎契約金額 …… (変更前) 一金 294,840,000円

(変更後) 一金 300,292,920円 5,452,920円の増

◎契約の相手方 …… 上富田町生馬567-1

株式会社 後工務店

代表取締役 後 雅雄

◎契約の目的 …… 平成28年度 第3号

学校給食施設整備事業 上富田町学校給食センター電気設備工事

◎契約金額 …… (変更前) 一金 130,721,040円

(変更後) 一金 132,453,360円 1,732,320円の増

◎契約の相手方 …… 田辺市稲成町336-1

株式会社 第一テック

代表取締役 朝間 一議

物品購入変更契約関係

- ◎取得物品……………平成28年度繰越 学校給食施設整備事業
上富田町学校給食センター備品（厨房機器）
- ◎契約金額……………（変更前）一金 208,440,000円
（変更後）一金 209,088,000円 648,000円の増
- ◎契約の相手方……………大阪府豊中市走井2丁目9番2号
日本調理機器株式会社 関西支社
支店長 小林 正高

土地取得関係

- ◎取得物件……………上富田町生馬字松尾316番13
山林 他5筆 5,127㎡
- ◎取得価格……………一金 53,000,000円
- ◎取得目的……………上富田町スポーツセンター駐車場用地として
- ◎契約の相手方……………田辺市古尾19番1号
株式会社 目良組
代表取締役 目良 美良

人事案件

- ◎任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について、議会の同意がもとめられ全会一致で同意しました。
上富田町岩崎 小倉 久義（再任）

平成28年度 決算認定について

平成28年度の各会計の決算認定については、9月定例会後、閉会中に決算審査特別委員会において審査し、12月定例会に松井孝恵委員長から審査結果が報告され、その後採決を行い、13会計全て認定、議案第56号「平成28年度上富田町水道事業会計剰余金処分及び決算について」は可決及び認定をしました。全会計の決算合計額は、歳入116億2400万7,581円、歳出116億8,389万1,258円となっています。

一般会計の平成28年度決算収支は、歳入総額59億8,373万4千円、歳出総額58億3,508万1千円で、当年度の収支実績では、繰越額を除く実質収支額で8,726万6千円の黒字、また単年度収支についても59万1千円の黒字となっています。

厳しい財政事情が続く中で、行財政改革の効果が現れていると考えるが、今後においても、行政効果の検討や事務事業の更なる見直しを行うことはもとより、施策の選択、再構築など、限られた財源を有効に活用され、強固で弾力的な財政体質を確立し、健康で明るい豊かな町づくりに向けて、なお一層の努力を望むとしています。

- ◎投資的経費の状況（※道路、橋梁、学校、公共施設等、将来に残るものに支出した経費の状況）

平成28年度の投資的経費は6億5,540万1千円で、対前年度比では45.1%減額、歳出全体の11.3%を占めている。

※本年度の主な投資的事業は次のとおり

単位：千円

事業名(補助・単独 含)	事業費
土地購入事業	84,055
統合保育所建設事業	156,460
道路橋梁維持補修工事	58,443
富田川土砂浚渫事業	16,432
公共下水道接続事業	10,702
学校給食施設建設事業	93,625
スポーツサロン建設工事	49,303

◎経常収支比率の状況

財政構造の弾力性を判断する指標で、比率が低いほど弾力性が大きいことを示すことになり、本年度の経常収支比率は89.5%で、前年度に比べ3%増加している。

経常収支比率は一般的に市町村では75%以下が望ましいとされているので、今後も経常経費の抑制に留意し、一層財政構造の弾力性の確保に努められたい。

経常的経費充当財源一般財源等と経常収支比率の過去3年間の推移

年度	経常的経費充当財源一般財源等	経常収支比率
平成28年度	3,316,762千円	89.5%
平成27年度	3,269,276千円	86.5%
平成26年度	3,296,227千円	90.9%

◎公債費の状況

平成28年度一般会計の元利償還金は671,935千円

町債の平成28年度末現在高は6,350,778千円で、前年度末の現在高より122,351千円の減少となっている。

全会計での公債費の平成28年度末現在高は10,951,262千円、町民1人当たりでは約708千円の借入額となっている。(3月末人口15,461人)(昨年度末では719千円)実質公債費比率は12.3%で、改善が図られており、18.0未満を下まわっていることから起債を借り入れる際の起債協議団体となっている。

実質公債費比率が高いほど、財政の硬直化が進んでいることを示すことになる。

今後なお一層、適正化を図り、財政の健全化に努力されたい。

◎実質公債費比率の過去3年間の推移

年度	実質公債費比率	地方債現在高(普通会計)
平成28年度	12.3%	6,362,104千円
平成27年度	12.5%	6,488,473千円
平成26年度	13.3%	6,354,576千円

平成28年度 県外からの**所管事務調査**

平成28年度中上富田町議会に、県外の1市・2町議会議員の皆様が所管事務の調査研修に来られました。

昨年、日経新聞に「50年間人口が増え続ける町、和歌山県上富田町の秘密」として上富田町が紹介されそのことを知った市町の議員さんが議会に「人口増加の施策について」と題して、研修に来られましたのでご紹介いたします。

○平成28年5月23日 兵庫県 新温泉町議会 5名の議会議員



○平成28年10月23日 北海道 芦別市議会 5名の議会議員



○平成28年10月24日 石川県 津幡町議会 8名の議会議員 職員4名



叙勲受賞おめでとうございます。



危険業務従事者叙勲《瑞宝単光章》元海上保安官 小出 憲司氏



消防第2分団に消防車購入

現在、町では、消防団車両16台所有していますが、老朽化が進んでいるため、段階的に車両更新を計画しています。その中で第2分団(生馬)配備のポンプ付積載車が昭和62年に配備のもので老朽化のため、この度購入しました。今回、配備の車両は1t車両(6人乗り)に擬装を行い、可搬式のポンプを積載したものであります。

消防第3分団屯所の移設

第3分団屯所は岩田公民館に併設されており、岩田公民館(昭和45年)の老朽化による建替計画に伴い、第3分団屯所を岩田保育所跡地へ建築をいたしました。

土地面積は約380㎡、建物については、鉄骨平屋一階建、建築面積136㎡(延床128㎡)消防車両の車庫(72㎡)、資機材用倉庫(16㎡)、団員の待機場所(42㎡)、トイレ(6㎡)。12月15日に移設が完了いたしました。



編集後記

「議会だより」をお届けします。今回は12月定例会で審議した一般会計補正予算等の主な内容、平成28年度の決算認定、議員の一般質問内容を掲載しています。

一般質問の様子は、インターネット録画放映でご覧いただけますので、ご活用ください。

紙面等へのご意見、ご感想があれば、どしどしお寄せください。

